

科目名	日本語学講義F						
教員名	小木曾 智信						
科目ナンバー	1151425208	単位数	2	配当年次	2	開講時期	2015年度 後期
テーマ・概要							
<p>近年、コーパス言語学が注目を集めている。コーパスとはコンピュータに蓄えられた大規模な言語資料のことで、これを利用することにより従来では行うことのできなかつた研究が可能になりつつある。日本語学や諸分野においても今後の発展が期待されている。</p> <p>この授業では、現在構築が進んでいる「現代日本語書き言葉均衡コーパス」を中心に、コーパスの概要・コーパス構築に用いられている技術・コーパスの利用方法などについて講義する。後半では、実際にコーパスを使って各自の課題について調査する実習を行う。</p>							
到達目標							
コーパスを利用して各自の課題について調査する方法を身につける。							
授業の計画と準備学修							
回数	授業の計画・内容	準備学修(予習・復習等)					準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション	紹介するWeb上の資料を読んで復習する。					60分
第2回	日本語コーパスの紹介(1) コーパスの概要	配布する資料を読んで復習する。					60分
第3回	日本語コーパスの紹介(2) コーパスの設計とサンプリング	配布する資料を読んで復習する。					60分
第4回	日本語コーパスの紹介(3) コーパスのデータ形式	配布する資料を読んで復習する。					60分
第5回	形態素解析の仕組みと使い方 「UniDic」と「茶まめ」の利用	形態素解析に仕組みについて復習し、自分で解析が行えるようにする。					90分
第6回	形態素解析結果の表計算ソフトによる集計	形態素解析結果を集計する方法について復習する。					90分
第7回	Web版コーパス検索ツールの利用(1) 「中納言」の紹介	「中納言」の基本操作を復習する。					90分
第8回	Web版コーパス検索ツールの利用(2) 「中納言」の利用	「中納言」の操作方法に習熟する。					90分
第9回	検索結果の集計と分析(1) 表計算ソフト	検索結果を集計する方法について復習する。					90分
第10回	検索結果の集計と分析(2) ピボットテーブル	ピボットテーブルの操作に習熟する。					90分
第11回	検索結果の集計と分析(3) データの加工と集計	文字列関数などを用いたデータの処理方法を復習する。					90分
第12回	レポートに向けた調査と質問(1)	レポートで取り上げるテーマを検討し、コーパスで調査する。					120分
第13回	レポートに向けた調査と質問(2)	レポートで取り上げるテーマを検討し、コーパスで調査する。					120分
第14回	パソコンによるレポート執筆(文書の構造化, 相互参照等)	レポートで取り上げるテーマについて調査し、レポート執筆に着手する。					120分
第15回	まとめ	レポートで取り上げるテーマについて調査し質問項目をまとめる。(予習) レポートのための調査・執筆を継続する。					120分
授業の方法							
コンピュータに教材を提示しながら講義するとともに、各自がパソコンを操作する実習を行う。 ただし、受講者の人数によっては方法を変更する場合がある。							
成績評価の方法							
出席・期末テスト・小レポート等を総合して評価する。							
成績評価の基準							
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.							

必要な予備知識／先修科目／関連科目
特になし。
テキスト
特定の教科書は使用しない。Webページの形で提示するほか、必要に応じてプリントを配布する。
参考書
授業時に紹介する。
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後に教室で受け付けるほか、授業時に紹介するメールアドレスで対応する。